



COOP SHIGA CSR REPORT 2023

コープしがCSRレポート2023

ともしつくる
笑顔
あふれる未来



COOP SHIGA CSR REPORT 2023

コープしがCSRレポート2023



CONTENTS

理事長あいさつ 02

特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み
～コープしがの2022～ 03-04

コープしがのCSR 05-06

コープしがの事業紹介 07-08

2022年度活動報告

「たべる」たいせつ 09-10

「くらし」たいせつ 11-12

「ちいき」たいせつ 13-14

「びわこ」たいせつ 15-16

「いのち」たいせつ 17

県内自治体との協定・覚書一覧 18

コープしがの組織概要

事業における環境報告 19

環境に配慮した商品の普及実績 20

コープしがの概要／事業所一覧 21

コープしがのグループ会社 22

編集方針

「コープしがCSRレポート」は、コープしがが果たすべき社会的責任（Corporate Social Responsibility:CSR）と社会課題解決のためにやっている取り組みを、幅広いステークホルダーのみなさまにご理解いただくことを目的に発行しています。

2008年の発行から数えて16回目となる今回は、独自視点の「5つのたいせつ」に基づいた構成とし、コープしがの活動をより分かりやすくお伝えすることを心がけました。

コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のもと、持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか。掲載は活動の一部ですがみなさまにご覧いただければ幸いです。

「みんなごと」をすすめて、
ともにつくる笑顔あふれる未来へ

2023年3月、生活協同組合コープしがは設立30周年を迎えました。おかげさまで、設立当時7万人だった組合員数は22万人に広がりました。今日まで組合員、役職員、お取引先、関係する諸団体のみなさまのご協力やご支援のもと、生協運動をすすめてこられたことに深く感謝し心からお礼申し上げます。

2022年度は内外の情勢から物価が高騰し、組合員のくらしは厳しさが増えています。組合員のくらしを守る^とりで、知恵と工夫を凝らして様々な取り組みをすすめてきましたが、さらなる役割発揮が必要であったと認識しています。一方で地域に目を向けると、格差問題や生活困窮、孤立などが顕在しており、このような社会課題に対して地域のセーフティーネットの一つとしてコープしがの特性を活かせないかと考えています。その実践に向けて、多くの市町や社会福祉協議会と“コープしがの事業や活動を通して、一緒に地域を見守ることを趣旨とした協定”の締結をすすめることができました。

コープしがは、世界105か国に広がる協同組合の国際組織(ICA)の「協同組合のアイデンティティ・価値・原則」にある「第7原則：コミュニティへの関与」が重要であると考えています。2030年に向けたビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」には、組合員のくらしへの役立ちを高めるために、コミュニティの持続的な発展に、コープしがが関わり寄与することを掲げ、理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を目指しています。

とりわけ設立から30年の節目となる今年は、「みんなごと」をあいことばに事業・活動・運営をすすめてまいります。自分のことではないことは、他人ごととして切り分けてしまうような世相があるように思えます。日常において、「他人ごと」にしてしまっていることがあるのではないのでしょうか？あらためて「みんなごと」という意識をもって、関わることを避けて「受け止める」、そして「みんなで解決していく」。一人ひとりが、このような習慣を身につけて、地域とともに未来を展望できる生活協同組合コープしがへ、勢いをつけていきたいと考えています。

引き続きコープしがへの、みなさまのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

理事長 白石一夫





第41回通常総代会(2021年6月11日)で承認されました

特集 2030年ビジョン実現に向けた取り組み～コープしがの2022～

2030年ビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」は、コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を実現するための10年後のありたい姿です。今までも、これからもずっと組合員の期待に応えて、くらしに役立ち続けることを目指しています。

ビジョンの実現のために3カ年の中期計画（2021～2023年度）を作成し、ありたい姿の実現のための「土台づくり」として位置づけ、取り組んでいます。

「しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金」

貧困や様々な悩みを抱える子どもたちが“笑顔”で暮らせるように応援する基金を2022年1月に創設しました。組合員が宅配、店舗で提供する県内商品・地場産農産物の利用を通じて、子どもたちや県内生産者を応援できる取り組みです。

積み立てた基金は、年度末に1年間分を、滋賀県社会福祉協議会がすすめる「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付します。



「滋賀県食品ロス削減優良取り組み表彰」知事賞を受賞しました

食品ロス削減に関する特に優れた取り組みを行っている個人や事業者、団体に贈られるもので、コープしがは、「フードドライブ」の取り組みとハートコープしがで実施している「野菜くずの堆肥化・リサイクルの取り組み」について、表彰を受けました。

在庫商品の寄付

2021年11月から、物流センターで宅配事業の在庫として確保してある商品を、毎月1回、「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付しています。



表彰式の様子

しがのふるさと支え合いプロジェクト

2022年11月、知内農業組合と協定を結びました。滋賀県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」を活用し、知内の自然環境での田植え・稲刈り体験と交流を通じて、「魚のゆりかご水田」を知らせる取り組みをすすめています。

※「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、多様な住民や活動主体との協働活動による持続可能な農村づくりの取り組みです。



魚のゆりかご水田 魚とりの様子

フードドライブの取り組み

コープしがの各事業所にフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」を通して必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みを行っています。2022年度は、新たに「フードバンクながはま」「甲賀市社会福祉協議会」が回収先に加わりました。

●2022年度フードBOX回収量：8,833.6kg



「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」感謝状

滋賀県との包括的連携協定に基づき、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ（第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会）」に寄付協力を行ったことから、感謝状をいただきました。2025年の開催成功に向けて、県民への認知度向上に取り組んでいきます。



感謝状と両大会のメインキャラクターと一緒に

滋賀県初のオリジナルいちご「みおしずく」を使ったスイーツ

「“みおしずく香る”近江のめぐみドルチェ」の開発

コープしがは滋賀県との包括的連携協定に基づき、「みおしずく」を使ったスイーツ試作プロジェクトに参画し、滋賀県産の素材にこだわった、「“みおしずく香る”近江のめぐみドルチェ」を開発しました。4層はそれぞれ滋賀の自然を表しています。



みおしずく香る 近江のめぐみドルチェ

コープしがは30周年!

生活協同組合コープしがは2023年3月21日に30周年を迎えました。

合併当時7万人だった組合員数は、今では22万人を超え滋賀県全体の約36%の世帯が加入する大きな組織になりました。

当時の合併趣意書に込められた想いは、コープしが理念「ともにつくる笑顔あふれる未来」に息づいています。

「これまでも、これからも」コープしがは人と人のつながりを大切にしながらすすんでまいります。



コープしがのCSR

理念

ともにつくる  あふれる未来

私たちは、暮らしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、
ともに考える、そのような人と人とのつながりを大切にします。

私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで
笑顔あふれる暮らしを創造し、次代へと継承していきます。

コープしごととSDGs

SDGsのめざすものは、コープしごとが理念として目指す「ともにつくる 笑顔あふれる 未来」のゴールと同じです。

暮らしの営みは、ずっと続きます。私たちが取り組んでいる多くの事業や活動は、SDGsの17の目標と何らかの関わりがあります。

またコープしごとは、私たちが安心して暮らすために、一人ひとりの小さな「私にできること」が寄せ合って大きな力になる投げかけやきっかけづくりをすすめています。

コープしごとは、人が大切にされ誰もが安心して笑顔でくらす社会を目指して、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。



働きがいのある職場づくり

私たちは、組合員のくらしづくりに貢献する使命を持っています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくために、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人財育成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしごの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気に挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の痛みがわかる心をもち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識をもち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します

イクボス宣言

「イクボス」とは、職場で共に働く部下の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と生活を充実させている上司（経営者・管理監督者）のことです。コープしがも2022年10月に「イクボス」宣言を行いました。



内部統制基本方針に基づく運営

【コンプライアンス】

コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り行動するため、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。

【リスクマネジメント】

コープしがの全業務に関わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し、リスク教育を行い、発生防止に努めています。

【個人情報保護】

個人情報保護法にもとづき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。

【危機管理】

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規程や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。

生協とは

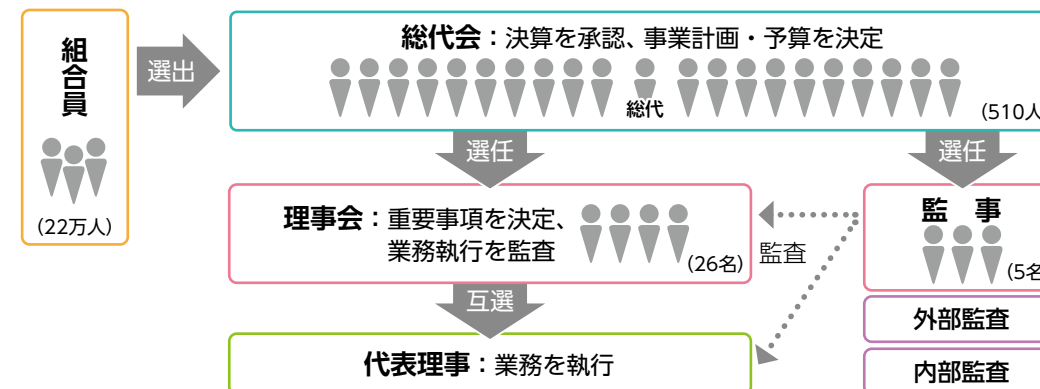
生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かなくらし」という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

出資

利用

運営

コーポレートガバナンス



機関運営

コープしごの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する**総代会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄し業務執行する**代表理事**、その決定や業務執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。

総代会



生協の最高意思決定機関です。組合員の代表である「総代」が参加し、「昨年度の取り組みが、組合員の意思に沿って行われたか」「今年度の取り組みが組合員のくらしに貢献できるか」を判断し議決します。また、定款・規約の改定、役員の選出も総代会で行います。組合員が運営し、議決権を持つのも組合員である「総代」だけです。



2022年度の機関運営

2022年度より、総代会までの総代会関連会議を見直し、年度末総代懇談会（3月）と総代会議案検討会議（5月）を一本化しました。

一方で、日常の組合員の声の受け止めを強化し、方針づくりに反映しています。



機関会議の様子

総代会関連会議に参加された総代の声（アンケートより）

3月・5月の会議の1本化は、総代の負担を考えると良いと思います。新しい総代会関連会議がより濃縮された良いものになればと考えます。



コープしがの事業紹介

生協の役割は、組合員の「くらしを良くする」こと。
事業を通して組合員の想いや願いを実現できるよう、組合員の声に耳を傾けています。
生協の商品やサービスの一つひとつが組合員の声から生まれ改善されています。

宅配事業

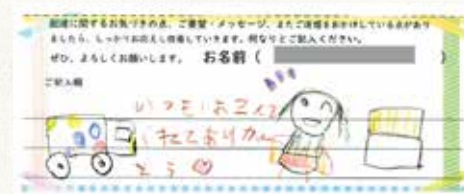
安全・安心の商品を便利にお届けします。

宅配は県下9か所の宅配事業センターから、毎週約11万か所に安全・安心の商品をお届けしています。子育て世帯、高齢者、お勤めで忙しい組合員のくらしを様々な商品やサービスで応援しています。コープしがでは、決まった担当者が、毎週決まった曜日・時間に、組合員に商品をお届けするとともに、見守りなど単に商品をお届けするだけでないお役立ちができると考えています。

●2022年度新規加入人数（宅配）：8,646人



組合員ご家族からのメッセージ



店舗事業

新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。

コープしがのお店は、「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」をコンセプトに、組合員の声に応え、毎日のくらしと食を応援しています。ぜひ店・もりやま店・かた店・ながはま店の4店舗で、買い物に不自由されている方の支援など、地域で一番やさしいお店を目指しています。

●2022年度新規加入人数（店舗）：3,542人

利用者の声

コープのスタッフさんは、みなさんハキハキと元気が良く、仕事帰りのお買い物で疲れていても、元気とほっこりをいただいています。いつもお疲れ様です！またお買い物に来ますね～

夕食サポート事業

笑顔の食卓をサポートします。

夕食宅配「つながり」は、高齢者、一人暮らし、共働き、育児などで毎日の夕食づくりに困っておられる方をサポートします。事業開始から減塩おかず、やわらかおかずの開発など組合員の声に応えてきました。これからも、楽しく健康的な食生活を応援していきます。



利用者の声

里帰りせずの初めての出産、育児は大変でしたが、夕食サポートに支えられて産後3か月を乗り越えられました。

共済事業

組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

CO・OP共済は「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いです。手頃な掛け金でしっかりと組合員の家族みんなの保障となるよう、CO・OP共済は組合員の声で充実していきます。

お誕生日には「おかわりございませんか」の手紙を届けて、「請求忘れゼロ」を目指しています。

●2023年3月現在契約件数：112,701件

ありがとうの声（共済金支払い時アンケートより）

もっと早くから加入しておけばよかったと思いました。掛け金の手頃で子持ちには本当に助かります。コープさんには食材でも共済でも未永くお世話になりそうです。

コープながはま店では8月8日、コーすけの誕生日にお手紙をくれたりんちゃんに、ありがとうのお返事を渡しました。
コーすけのことが大好きなりんちゃんは大喜び！
でも別れるのが寂しくて涙…。
周りにいる職員もつられて涙、涙のとても心温まる時間でした。



コーすけとりんちゃん

エネルギー事業（コープでんき）

突然のご家庭の停電や電気トラブル時は、コープでんき駆けつけサービスがあります。電気の使用状況も簡単に確認できます。

●2022年度契約件数：12,037件

利用者の声

真夜中に家中の電気が落ちてしまい、電話しました。快く受けて下さり、話を聞いてもらえてとても安心しました。近くの電気屋さんにも教えていただき、すぐに来てもらえました。無事、電気が通ってからも、再度お電話をいただき様子を聞いてくださいました。すごく丁寧で親切で「コープでんき」にして良かったと思っています。



介護事業

コープしがは、福祉を「一人ひとりの人が社会的つながりの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」ととらえ、組合員、地域の方々とともに「くらしを創造する福祉」を目指しています。

- ケアプランセンターぽこ野洲（居宅介護支援）
住み慣れた地域で、生き生きとしたくらしを支える居宅介護支援
- ヘルパーステーションぽこ野洲
（訪問介護・障がい福祉サービス（居宅介護）・介護保険外サービス）
- ヘルパーステーションぽこ守山（訪問介護・介護保険外サービス）
その人らしいくらしを護る訪問介護
※2023年開設に向けての準備をすすめました。

「ぽこ」は2013年組合員から公募し、「ポコ・ア・ポコ=少しずつ、一歩ずつ」という意味を込めて名付けました。



ヘルパーステーションぽこ守山 開所式の様子 (2023/4/3)



たべることは生きること。私たちにとって食べものはとても大切なもの。
食べものはすべて生きものであり、その命をもらって私たちは生きています。
私たちは感謝する心を大切にしていきます。

たべる たいせつ



今年は引き続きオンラインも活用しながら、可能な限り、実際に集まっての開催と併用した取り組みを企画しました。

つながる商品交流会 (2023/2/18)

毎年、生産者をお呼びして開催していた「商品交流会」は、昨年に引き続きオンライン (Youtube配信) で開催しました。
今年は生産者からのお話に加え、組合員宅からの中継も加わるなど盛りだくさんの内容となりました。



オンライン配信の様子



組合員宅からのクッキング中継

田植え・稲刈り体験

しばらく開催を中止していましたが、田植え・稲刈りの体験や生産者との交流を通して、お米づくりの苦労や農業を守ることの大切さを実感してもらえるよう開催しました。



アンケートより組合員の声

大変さが子どもにも分かったと思います。お米を大切に食べないと、という気持ちを持つことができる体験でした。

組合員とのオリジナルクリスマスケーキ開発

組合員と大山乳業と一緒に、毎年オリジナルクリスマスケーキを開発しています。この取り組みは25年目となりました。



産直・県内商品普及委員会のみなさん

オリジナルクリスマスケーキ
「ストロベリースのぶれぜんと♡」

産直鳥取みんなのつながり和牛

「鳥取みんなのつながり和牛」は、コープしがと鳥取県畜産農協、(株)みんなの牧場が協力して育てているお手頃価格の黒毛和牛です。安くて美味しい和牛肉を組合員さんにお届けしようと10年前から構想し、2022年5月ようやく初出荷を終え、組合員の食卓にお届けできるようになりました。安定した牛肉の提供と牛乳の安定供給により、酪農家を支える循環型の取り組みです。

組合員の声

月1回の贅沢で楽しみです。主人と2人なので、普段は質素ですが少しの贅沢です。



鳥取みんなのつながり和牛 初出荷の様子

たべる＊たいせつ おうちで親子クラブ

家庭での食育を応援する活動です。2022年度も自宅でできる活動として、自宅からのオンライン参加形式で開催しました。親子で季節を感じながらクイズにチャレンジしたり、季節の料理レシピ動画を視聴したり、食育について学びました。

参加者の声

小松菜の育っている様子や使い方を教えていただきとても参考になりました。親子で楽しめる企画でした！



お家で料理にチャレンジしている様子

鳥取に行ったつもり!? オンライン産直交流企画 (2022/8/20)

毎年現地開催していた「サマーキャンプin鳥取」の代わりに、「交流したい!」という組合員・生産者の声を受けて、昨年に引き続きオンライン産直交流企画を開催しました。当日はCO・OPスタジオから参加者の自宅にオンライン配信を行い、多くの家族と一緒に、動画で牛乳や食用肉について学んだり、クッキング教室をしたり、鳥取県と中継したりと、充実した企画となりました。



大山乳業農協・鳥取県畜産農協のみなさん



参加者アンケート

滋賀県立大学「食育推進隊」によるレシピ考案

2018年から、滋賀県立大学人間文化学部 生活栄養学科「食育推進隊」の学生のみなさんに、産直野菜を使ったレシピを考案いただいています。5年目となる今年は、「滋賀県産もち麦」を使ったレシピを商品案内書「コープしがマルシェ」で5月に紹介しました。



考案したレシピ



ふつうに生活できている今に感謝し、何気ない毎日を大切にします。
私たちはくらしの願いの実現に向けて、「私にできるコト」をすすめます。

くらし たいせつ



若い震災語り部のお話を聞く会 (2023/3/4)

東日本大震災の伝承に取り組まれている団体「3.11メモリアルネットワーク」とオンラインでつなぎ、震災当時小学生だった語り部さんから震災当時のこと、震災を通して伝えたいことなどを語っていただきました。その後、宮城県南三陸町戸倉と中継でつなぎ、桜の木の植樹の様子をライブ中継しました。

震災支援や、これから継承していくことについて、自分たちにできることは何かを考える時間となりました。



オンライン配信の様子



参加者の声

若い語り部さんの話、どんな内容かなと思ってましたが、震災後すぐにみんなが助かるためにはどうしたらいいか？と話し合い、つなげていくという勇気、想いがすごく伝わってきました。

もずく基金贈呈式 (2023/4/14)

沖縄県恩納村にて執り行われた、「産直もずく利用によるサンゴ基金」の合同贈呈式に参加しました。この基金は、「産直もずく」を生協で利用することで、1点あたり1円が沖縄県の恩納村漁業協同組合へ寄付される仕組み※です。寄付金は、美しく豊かな沖縄の海をつくるサンゴの再生に活かされています。



もずく基金贈呈式

※P12
珊瑚再生もずく基金
実績をご覧ください。

コープしがアプリの開設

組合員の声をもとにつくられた「コープしがアプリ」は、2023年5月にリニューアルを予定しています。



アプリの
ダウンロードはこちら



みんなで取り組んだ募金など

ユニセフ・一般募金(内、1,820,000円をミャンマー指定募金に寄付しました)	5,988,015円
ユニセフ・パキスタン洪水自然災害緊急募金	2,692,944円
ユニセフ・トルコ・シリア地震自然災害緊急募金	5,608,524円
ユニセフ・ウクライナ緊急募金	7,709,184円
ハンガーフリーワールド(書き損じハガキ回収キャンペーン)	4,938,214円
8月大雨災害支援募金	2,201,276円

組合員による商品の利用を通じた応援募金

しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金	1,529,614円
利用登録米の利用による「滋賀応援寄付」(1kg当たり1円)	293,150円
珊瑚再生もずく基金(1点当たり1円)※	87,696円
沖島のやさしいアイス利用寄付(1点につき10円を沖島小学校に寄付) 2017年2月25日～2023年3月20日	16,010円

●全国の生協とともに取り組む募金(コープしが分)

CO・OPレッドカップキャンペーン(1点当たり1円)	76,742円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト(1パック当たり1円)	59,798円
CO・OP洗剤環境寄付キャンペーンWWFジャパン(1点当たり0.5円)	59,246円
CO・OP化粧品ピンクリボン運動(1点当たり1円)	11,909円

お店でのお買い物をサポートする 仕組み

- お買い物サポートカー
お買い物が不便な方を対象に、ご自宅からお店まで無料で送迎するサービス
- お買い物代行
電話でご注文された商品を、ご自宅にお届けするサービス
- お買い上げ配達
お店でお買い物された商品を、その日の夕方までにご自宅へお届けするサービス
- 移動店舗あったか便の事業開始に向けて準備をすすめました。(2023年4月～ 長浜市余呉町・上草野地域で開始)



移動店舗「あったか便」

はじまるばこ

コープしがでは、滋賀県にお住まいの、1歳未満の赤ちゃんのおられるご家庭を対象に、便利な育児サポート商品の詰め合わせ「はじまるばこ」を無料でプレゼントしています。



ありがとうの贈りもの

滋賀県がすすめる「滋賀で誕生ありがとう事業」の取り組みの1つで、コープしがも協賛・申込窓口・お届けを担っています。





「ふだんのくらしのしあわせ」を実感したい。
私たちは、人々のささえあい・助け合いの活動を
すすめ、みんなが幸せになることを目指します。

ちいき
たいせつ



自治ステーション

買い物が不自由な地域の方や居場所の活性化にお役立ちするために、宅配の商品を受け取るステーション機能を活用して、その場所が地域の「集う場」となるきっかけになるように地域の方々とともに開設をすすめています。第2号は、守山市にオープンした「Cafe Ink MORIYAMA」で開設されました。



自治ステーション代表者と草津センター職員

自治ステーション代表者の声

コープしがの商品を通して、地域の顔が見える関係性ができたら嬉しいです。

できるコトづくり制度の 助成と支援

2018年に創設された「できるコトづくり制度」は、「想いや願い」を持った団体が新たな一歩を踏み出すための「学びの場（できるコトづくり講座）」の提供と、その「想いや願い」を実現させるために必要な「資金助成（できるコトづくり助成）」からなっています。2022年度は「はじめて助成」9団体、「活動助成」8団体に助成を行いました。
※2021年度からの継続申請含む



「リボンカフェ」による乳がんセルフチェックイベントの様子

2022年度「はじめて助成」の助成団体「リボンカフェ」のみなさんは、県内各地で乳がんのセルフチェックのイベントやセミナーを開催されています。7月には乳がんセルフチェックとバルーン作りのイベントを開催し、楽しく工夫しながら、セルフチェックの大切さをアピールしました。

組合員どうしの助け合い「ささえあいサポート」

ささえあいサポートは組合員どうしの助け合い活動です。お手伝いするのは、組合員と家族のみなさんです。地域ごとに組合員で構成するコーディネーター会が依頼受付やサポーター手配など、運営を担っています。

●2022年度ささえあいサポート利用件数：2,815件

ご利用者の声

（保育園のお迎えを依頼される利用者さんより）サポーターさんに子どもが非常に懐いていて、サポーターさんのことを「ばあば」と呼んでいるんです。



サポート活動の様子（草刈り）

子育ての見守り

自治体から業務委託を受けて、1歳未満の赤ちゃんがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩み事の相談など、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。新たに甲賀市で「こうか・おむつ便」がスタートしました。
※甲良町「見守りおむつお届け便」／東近江市「見守りおむつ宅配便」



「こうか・おむつ便」出発式の様子(2022/10/3)

甲賀市おむつ宅配便利用者の声

いつも目を合わせながら「お母さんもお子さんも体調はどうですか？」と聞いてくださってありがとうございました。丁寧に声をかけてくださって嬉しかったです。

「沖島のやさしいアイス」店頭販売会の開催（2022/5/27）

「沖島のやさしいアイス」は、“沖島子どもチャレンジ特産品開発事業”として5年前に誕生した商品で、沖島の子どもたちが企画し、東近江市の池田牧場さんが商品づくりを、コープしがが販売を担当しています。今回は5周年を記念して、コープもりやま店にて沖島小学校の小学生による店頭販売会を実施しました。

生徒のみなさんによる元気いっぱいの声かけや店内放送などの頑張りで、開店から1時間で200個以上を販売しました。

●2022年度実績：16,010円寄付（1点10円）



店頭での声かけの様子



沖島のやさしいアイス

キッチンカー健康教室

食を支えるコープしがが「地域での健康づくり」のお役立ちとして行っている出前型の健康教室です（無料）。

赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者サロンや老人クラブ、子育てサークルなどに伺い、クイズを交えながら健康のお話やレシピを紹介しています。

●2022年度開催回数：69回



健康教室の様子



キッチンカー



滋賀県の約6分の1を占めるびわ湖。
周囲の緑豊かな山々や田園風景は、私たちのくらしにやすらぎを与えてくれます。
コープしがではふれあう体験の場を通じてびわ湖や自然を大切にする心を育んでいきます。

びわ湖を たいせつ



考えてやってみよう！ びわ湖清掃ウォーク 2022

(2022/8/1～10/31)

コープしがでは毎年コープしがの「びわ湖の日」※に「びわ湖清掃ウォーク」を開催し、約500人でびわ湖岸の清掃活動を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年に引き続き、だれでも身近な家族やお友だちとびわ湖を大切にする活動として取り組みました。

※コープしがでは、毎年9月の第一土曜日をコープしがの「びわ湖の日」と定めています。

参加者の取り組み報告より

- 野洲川付近に集まり、ごみ拾い等、清掃活動を行いました。今回の清掃活動を通して、少しでも琵琶湖の環境に貢献できれば嬉しいと感じました。子どもにも、食べた後のゴミはしっかり持ち帰ることや環境の大切さを伝えることができたと思います。



- いつも散歩をしているびわ湖沿いの道の清掃を行いました。掃除をしていると、散歩をしている年配の方から「ありがとう」と言われました。地元で同じようにびわ湖を大切にしている方なんだと思います。



清掃活動だけでなく、びわ湖をたいせつにするためにお家でできることにも取り組みました。



CO₂削減の取り組み

家庭で使う照明を消してCO₂の削減や地球温暖化について考える夏のライトダウンキャンペーンには90人が、冬のエコライフキャンペーンには、60人の組合員が参加し、エアコンの温度設定の変更、照明器具の消灯、家電製品の使用方法の見直し、水の使い方など日々の暮らしの小さな積み重ねを大切にするエコライフにチャレンジしました。

参加者の声

我が家がどれだけエコ活動につながっているのか知るために取り組んでみました。エコではなかったことに気づいたり、普段何気なくやってたことがエコにつながっていたことを知るきっかけにもなりました。

リサイクルステーション開設

コープのお店にリサイクルステーションがオープンしました。アルミ缶・古紙・ダンボールを店頭で回収して、リサイクルする取り組みです。



自然とあそぼう&木こり体験

(2022/4/3)

「滋賀県シェアリングネイチャー協会」のお二人から森林での五感を使ったネイチャーゲームを教えていただき、家族同士で自然とふれあひながら体験した後は、コープの森あぶらひで生産森林組合のみなさんから山の果たす役割や環境保全の大切さを教えていただきました。



ネイチャーゲームの様子

ノコギリを使った枝切り体験



お店でのライトダウンの様子

ヨシでびわ湖を守る取り組み

(2023/2/25)

近江八幡市にある西の湖でのヨシ刈りボランティアにコープしが職員も参加しました。コープしがは、ヨシを通した環境活動に賛同する「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のパートナー企業に登録して地域の環境貢献活動に参加しています。ヨシを刈り、活用することが、びわ湖の水環境や生態系を守ることに繋がっています。



コープの森あぶらひ 森林ボランティア (2022/11/5～6)

2日間とも天候に恵まれ、両日とも実施できました。5日は参加者4名でロボットを使った枝打ち作業と、林道の窪みに碎石を敷いて補修する作業を行いました。6日は12名の参加となり、獣害防止のテープ巻きと林道補修作業のグループに分かれて作業をしました。



獣害防止のテープ巻き

16 平和と公正を
すべての人に17 パートナシップで
目標を達成しよう

コープしがは、平和な社会の実現を目指して、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心して暮らすづくりを進める場を広げていきます。

いのち たいせつ



県内戦争遺跡巡り (2022/7/23)

今回は教育委員会や平和祈念館に協力いただきながら、現地開催することができました。滋賀県内の戦争遺跡や、戦争体験について、現地での見学や動画視聴を行い、「平和」について深く考える機会となりました。



八日市掩体壕 見学の様子

参加者アンケートより

今回、実際に^{えんたいどう}掩体壕を見たり、中に入ったりしたことで当時の雰囲気や頭の中に浮かび、人間同士の争い、戦争がどのようなものだったか、改めて気づかされました。

いのちの大切さを考える学習会 (2023/3/28)

組合員の声から、動物の命について考える学習会を企画しました。滋賀県動物保護管理センター（湖南市）にて、同職員による愛護学習や施設見学を行い、殺処分の現状や動物の命を守るために私たちに何ができるかを考える機会となりました。



学習会の様子

「日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名」の取り組み

コープしがは、2017年から、核兵器の廃絶を願う「ヒバクシャ国際署名」に取り組んできましたが、国連で採択された核兵器禁止条約が発効した2021年以降は、「日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名」に取り組んでいます。

●2021～2022年累計実績：17,311筆

県内自治体との協定・覚書

コープしがは、理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の実現に向けて、ともに暮らしづくりをすすめるためのつながりの強化を目指し、滋賀県内市町の首長訪問と市町との協定締結をすすめています。

現在、以下の自治体と見守りや災害時の協力に関する協定・覚書を結んでいます。

●県内自治体との協定・覚書一覧

市町名	協定・覚書の名称
東近江市	東近江市と生活協同組合コープしがとの「子ども110番事業」に関する覚書
米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定
長浜市	地域コミュニティ活性化に関する連携協定 など
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定 など
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定 など
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定 など
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定 など
守山市	災害時における生活物資の調達に関する協定 など
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定
多賀町	まちづくりに関する包括連携協定 など
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定
大津市	大津市高齢者等地域見守りネットワーク事業に関する協定 など
湖南市	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
日野町	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
竜王町	まちづくりに関する包括連携協定
豊郷町	まちづくりに関する包括連携協定
滋賀県	滋賀県と生活協同組合コープしがとの包括連携協定書 など

●「安心」が得られるまちづくりに関する協定



草津市社会福祉協議会との「つながりチューリップ協定」締結の様子（2022/7/6）



協定に基づき設置された生理用品回収BOX（草津事務所）

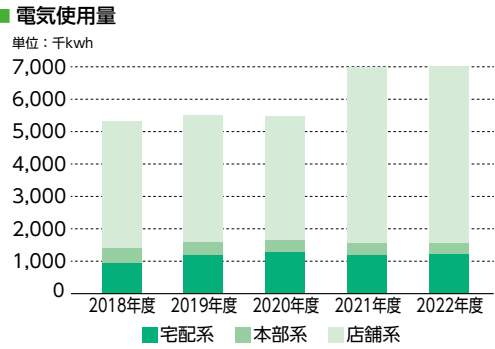
くらしは見守り・災害時の協力と限定されるものではなく、食や健康など多岐にわたるため、コープしがでは、お役立ちの可能性を広げるためにも包括連携協定をすすめていきたいと考えています。

事業における環境報告

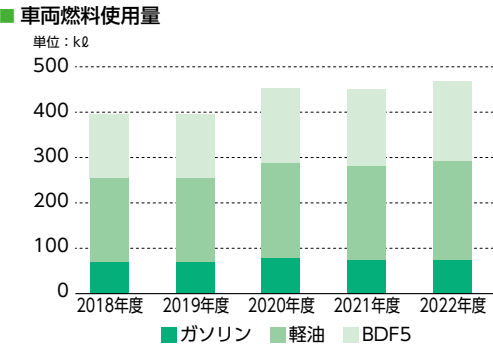
コープしがは「環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

● エネルギーの効率的な使用とCO₂排出量の削減

[エネルギーの効率的な使用]

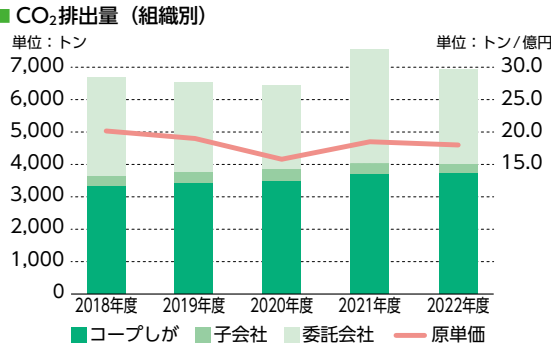


2022年度の電気使用量の目標は、コープしが全体で前年度維持を目標に取り組みました。本部などすべての事業所の照明機器のLED化をすすめました。



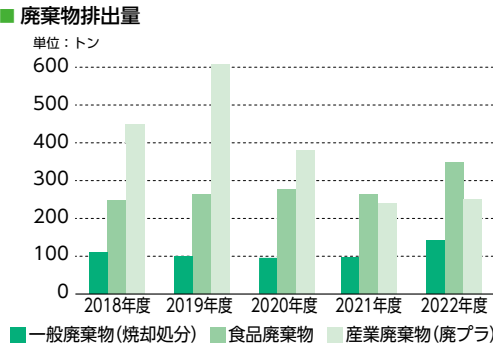
ガソリン車・軽油車とも燃費が低下しました。配送車両の配達拠点の増加やガソリン車両は商業車両の増車により低下しました。BDF燃料を5%配合した「BDF5」の使用は前年比104.5%になりました。

[CO₂排出量の削減の取り組み]



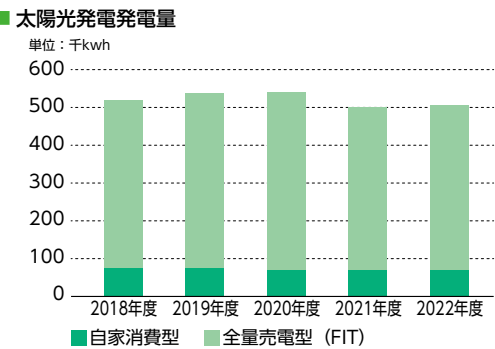
全体としては前年比89.5%となりました。供給高1億円当たりのCO₂排出量は16.8トンとなり、前年比90.6%となりました。生協の2030環境・サステナビリティ政策のCO₂削減計画に合わせ、対象範囲や排出係数を修正しました。

[事業活動による廃棄物の削減]



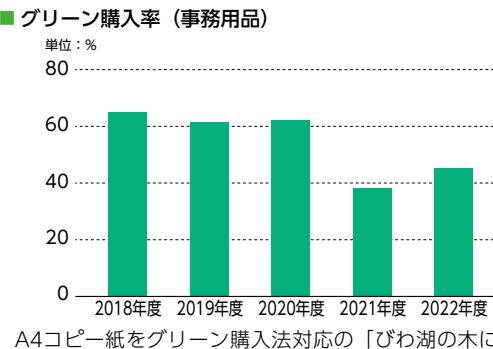
事業系の一般廃棄物はコロナ禍での返品増加などにより増加しました。食品廃棄物がながはま店の稼働で前年比132%となりました。

[再生可能エネルギーへの取り組み]



ほぼ一定の発電量となっています。

[グリーン購入の取り組み]



A4コピー紙をグリーン購入法対応の「びわ湖の木になる紙」に変更してグリーン購入比が向上しました。

環境に配慮した商品の普及実績

エコマーク 供給高 564,058,139円(140.9%) 供給点数 1,765,605点(135.8%)	FSC® 供給高 1,597,376,140円(132.9%) 供給点数 3,708,614点(150.2%)	MSC 供給高 150,755,656円(140.6%) 供給点数 413,945点(142.2%)	ASC 供給高 3,610,644円(98.4%) 供給点数 8,596点(102.0%)
MEL 供給高 120,646,846円(505.6%) 供給点数 280,868点(1059.1%)	有機JASマーク 供給高 38,143,788円(76.5%) 供給点数 123,917点(82.2%)	特別栽培農産物 供給高 56,097,266円(89.1%) 供給点数 207,391点(95.5%)	レインフォレスト・アライアンス 供給高 94,004,116円(98.9%) 供給点数 311,376点(87.3%)
CFP 供給高 42,656,242円(59.8%) 供給点数 79,172点(64.3%)	洗剤環境寄付キャンペーン 供給高 40,342,684円(145.9%) 供給点数 60,057点(151.5%)	RSPO 供給高 97,418,830円(459.0%) 供給点数 595,941点(1633.7%)	スラウェシ島エビ養殖改善協力金 供給高 69,643,024円(84.8%) 供給点数 69,586点(71.3%)

()は前年比

♥ 循環型社会をめざして

回収した牛乳パックの一部は、ただいまロールやおかえりティッシュにリサイクルされています。

リサイクル回収実績

(2022年4月～2023年3月)

●2022年度リサイクル売却実績

4,713万円



宅配回収物 ()は前年比 牛乳パック 年度累計 41,181kg (75.7%) たまごパック 年度累計 21,121kg (93.2%) 回収したたまごパックの一部は、新しいたまごパックにリサイクルされています。 共同購入案内書 年度累計 3,111,270kg (95.0%) 回収率 72.4%(前年-10.0%) 商品仕分け袋 年度累計 32,658kg (94.8%) 回収率 23.8%(前年-1.2%)	店舗回収物 ()は前年比 ペットボトル 年度累計 35,344kg (145.5%) ペットボトルキャップ 年度累計 2,005kg (116.5%) 食品トレイ 年度累計 8,776kg (138.9%) 牛乳パック 年度累計 13,869kg (136.5%) 古紙・段ボール 年度累計 218,837kg アルミ缶 年度累計 599,561本	※コープしがの店舗でスプーンやフォークなどのカトラリー製品を販売した収益の全額は、「びわ湖清掃ワーク」の費用として活用しています。 2022年度活用金額：102,815円
--	--	--

コープしがの概要 (2023年3月20日現在)

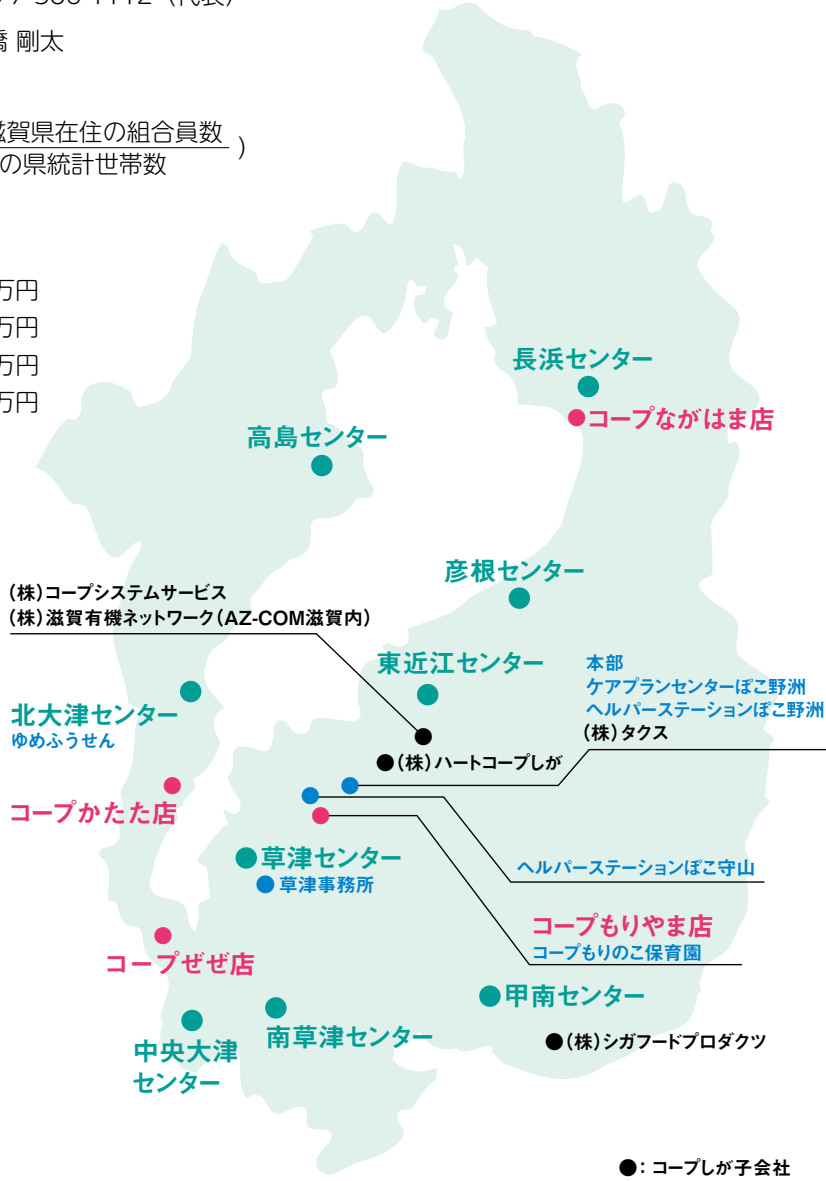
名称 生活協同組合コープしが
設立 1993年3月21日
滋賀県内4生協が合併して発足。(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)
本部 滋賀県野洲市富波甲972番地 TEL 077-586-1112 (代表)
代表理事 (理事長) 白石 一夫 (専務理事) 高橋 剛太
組合員数 22万373人

加入率 36.7% (= 2023年3月20日現在の滋賀県在住の組合員数 / 2023年3月1日現在の県統計世帯数)

出資金 131億9481万円
供給高 404億0702万円
(内訳) 宅配事業 308億3828万円
店舗事業 78億7512万円
夕食宅配 4億4382万円
エネルギー事業 12億4978万円

職員数 総合スタッフ 294人
エリアスタッフ 118人
シニアスタッフ 30人
嘱託スタッフ 31人
専属スタッフ 13人
定時・アルバイトスタッフ (フルタイム換算) 374.7人

「供給高」とは
生協では、組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業であることから、「売上高」ではなく「供給高」という言葉を使用しています。



コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設

本部 野洲市富波甲972
ゆめふうせん 大津市真野5-33-25
草津事務所 草津市西草津2丁目1-1
ケアプランセンターぽこ野洲 野洲市富波甲972
ヘルパーステーションぽこ野洲 野洲市富波甲972
コープもりのご保育園 守山市勝部3丁目14-27
ヘルパーステーションぽこ守山 守山市守山4丁目7-20 辻田ビル1階

店舗

コープぜぜ店 大津市竜が丘1-1
コープもりやま店 守山市勝部3丁目15-30

コープかたた店 大津市衣川1丁目17-1
コープながはま店 長浜市宮司町1200

宅配事業センター

南草津センター 草津市笠山5丁目3-50
北大津センター 大津市真野5-33-25
草津センター 草津市上寺町可摺281-1
中央大津センター 大津市国分2-226-22
甲南センター 甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター 東近江市五個荘清水鼻町153-6
長浜センター 長浜市西上坂町1020-1
彦根センター 彦根市竹ヶ鼻町四反地224-1
高島センター 高島市新旭町新庄799

コープしがのグループ会社



株式会社シガフードプロダクツ

所在地 甲賀市甲南町寺庄330
事業内容 食肉加工およびパック加工済み商品・畜肉加工品の販売
設立の目的 生肉の生産、流通および加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給するため



株式会社タクス

所在地 野洲市富波甲972
事業内容 保険代理店業、不動産事業、旅行事業
設立の目的 組合員の暮らし全般をサポートするため、生協では扱えない事業分野での事業展開を図るため



株式会社コープシステムサービス

所在地 近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティクス滋賀内)
事業内容 産地パックの全量点検業務、原料加工業務、店舗輸送元請け業務、チケツト仕分け転送業務
設立の目的 流通に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行およびコープしがの物流費をコントロールするため



株式会社ハートコープしが

所在地 野洲市富波甲963-1
事業内容 農産物の生産・加工・販売、宅配商品通い箱等の洗浄作業受託、食品循環資源等の再生利用作業受託
設立の目的 障がいのある方々の「働きたい」願いや自立の手助けの場を提供するため



株式会社滋賀有機ネットワーク

所在地 近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティクス滋賀内)
事業内容 農産物、農産加工品の販売
設立の目的 県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と、農産物の物流拠点を確立するため



「しが生物多様性認証制度」で、
2022年度最高評価の「3つ星」の
認証を獲得しています。

コープしがへの期待と受け止め、これからもSDGsに基づく事業と活動を組合員のみなさんとともにすすめていきます。



生活協同組合コープしが

<https://www.pak2.com/>

「スパイラル」はコープしがのシンボルマーク。
巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、
さらに求心と拡大、進化の軌跡などの発展を表しています。



公式ホームページ



採用ページ



公式Facebook



公式Instagram



公式YouTube



- 用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- CO₂排出量: 238.5g/部

2023年 6月発行